


(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	北杜市 武川町 牧原	地区名	萩沢沢(はぎょうさわ)	事業主体	山梨県	
(1)事業概要				③事業の妥当性評価		妥当	妥当でない	
①課題・背景		<p>本計画箇所は、北杜市円野町上戸井地区に流入する一級河川小武川の支流萩沢沢に位置している。近年の集中豪雨による溪岸浸食の拡大により、溪流の荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。</p>		①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
②整備目標・効果				③経済妥当性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
□主要目標		<p>○土石流被害の防止                      保全対象 人家0戸 国道0m 県道0m 市道20m                      林道870m(韮崎市営林道小武川線) その他道路1200m(治山資材道)                      土砂整備率 (現況)69% &lt; 70% ※                      災害実績 有(平成25年9月16日台風18号) ※                      重要公共施設 有(東京電力(株)小武川第四発電所) ※</p>		費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 2.51 > 1.0 ・便益(B) = 456 百万円 ・費用(C) = 181 百万円		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				④事業実施・規模の妥当性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				・流域内は溪流の浸食が進行し、不安定土砂が堆積しており、下流へ流出する恐れがある。 なお、砂防ダムの計画はない。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				⑤整備手法の有効性		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
□副次目標				⑥環境負荷への配慮		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
				⑦事業計画の熟度		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
□副次効果				・地元北杜市および韮崎市より強い要望あり		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		<p>○飲雑用水の安定供給                      (農業用取水施設)                      ○被災時の被害波及の防止                      (韮崎市営林道小武川線(生活関連林道)、東京電力(株)小武川第四発電所)</p>		<p>&lt;妥当性評価&gt;</p> ・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
(2)整備内容と整備量				④事業間優先度評価		貢献度ランク: a	副次効果ランク: 1	優先度評価: SI
①整備内容		谷止工3基、嵩上工1基		⑤総合評価		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
②整備期間		平成30年度～平成33年度		・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
③総事業費		200百万円(国費 90百万円(1/2) 県費 110百万円(1/2))		【事業位置図等】				
④全体計画		平成30年度 嵩上工1基 50百万円 平成31年度 谷止工1基 50百万円 平成32年度 谷止工1基 50百万円 平成33年度 谷止工1基 50百万円						
⑤規整備内容・期間・事業費		昭和57年度～平成8年度 谷止工16基、床固工1基、山腹工1基 計438百万円						